

講演会のお知らせ

演者 小野口和英 博士 (Department of Microbiology and Immunology,
University of California, San Francisco 博士研究員)

演題 ショウジョウバエを用いた免疫研究；小胞体ストレスと抗ウイルス
免疫機構

日時：2016年3月29日(火) 15:00-16:30

場所：6-206

講演内容

デング熱や黄熱病といった昆虫（主に蚊）が媒介するウイルス感染症が世界的に流行しています。昆虫が媒介するウイルス感染症の特徴の一つに、これらウイルスがヒト及び昆虫の両宿主に感染できることが挙げられます。昆虫媒介性ウイルスがどのようにして両宿主で増殖しているのか、逆に両宿主の免疫機構がどのようにしてウイルスを駆除しているのか解明することで、感染症対策の確立やウイルスの進化・適応機構の解析へと応用できると考えられています。

本講演は演者らがシンドビスウイルスに感染したショウジョウバエの遺伝子プロファイルの解析から、小胞体ストレスがショウジョウバエの免疫に関与していることを発見した研究について講演していただきます。

小野口博士略歴：2003年3月 神奈川大学理学部応用生物科学科（井上研究室）卒業、早稲田大学大学院理工学研究科生命理工学専攻博士課程修了、京都大学ウイルス研究所を経て現職、滞米歴5年。

主催 大学院理工学研究科生物科学専攻・理学部生物科学科

世話人 理学部生物科学科 井上和仁